

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 ＜英訳＞	ILASセミナー：発達心理学 ILAS Seminar :Developmental Psychology			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 大倉 得史		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	20(15)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	共北11			使用言語	日本語
キーワード	臨床心理学関連 / 発達心理学 / 自己分析 / 青年期 / グループワーク						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
受講生自身の自己分析と他者との語り合い、および発表と討論を通して、青年期の人格形成と心の動きを具体的に明らかにしていく。							
[到達目標]							
自己分析を通して、自分の中のかすかな感覚や無意識的な心の動きに気づき、自分を大切にできるようにする。							
[授業計画と内容]							
0．自己分析の方法論(第1回) 1．アイスブレイキング(第2回) 2．青年期における基本的対人態度(第3～5回) 3．青年期における親(家族)との関係(第6～8回) 4．青年期における友人関係(第9～11回) 5．青年期における愛と性愛(第12～14回) 6．フィードバック(第15回)							
[履修要件]							
後期の人文・社会科学科目群「発達心理学基礎ゼミナール」との連続履修を推奨する。							
[成績評価の方法・観点]							
各回の自己分析内容と討論への参加度、およびレポートによって評価する。詳しくは授業中に説明する。							
[教科書]							
使用しない							
[参考書等]							
(参考書) 大倉得史『拡散 diffusion ～「アイデンティティ」をめぐり、僕達は今～』(ミネルヴァ書房) E.H. エリクソン『アイデンティティとライフサイクル』(誠信書房) 西平直『魂のアイデンティティ』(金子書房) 河合隼雄『大人になることの難しさ』(岩波書店) 新宮一成『夢分析』(岩波新書) S.フロイト『夢解釈』(岩波書店)							
[授業外学修(予習・復習)等]							
夢を記録し、自己分析すること。							
----- ILASセミナー：発達心理学(2)へ続く↓↓↓ -----							

ILASセミナー：発達心理学(2)

青年期に関する文献を集めておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

・自己分析のワーク中心の授業となる。自分自身と向き合い、自分の内面を他者に伝えるという作業ができるかどうか、よく検討してから受講すること。

・初回の授業でエントリーシートの記入や授業の進め方の解説など、非常に重要な作業を行うので必ず出席すること（抽選に通っていても初回に欠席した場合、特段の事情がない限り受講は認めない）。

[主要授業科目（学部・学科名）]